

平成 30 年度 サービス評価
事業所自己評価・ミーティング様式

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	12 人	0 人	2 人	16 人

前回の改善計画

情報収集や信頼関係を目的とした意識的なコミュニケーションの技術を高める研修を開催する。

前回の改善計画に対する取組み結果

接遇・マナー研修を開催し、利用者に気持ちよく過ごしてもらうことができたようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	11	1	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	15	1	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	12	1	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	13	2	0	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ① 書面を配布して情報伝達している
サービス開始前に情報、プランが出ているので朝礼や申し送り時に共有している。
情報を基に職員間で話し合っている。
- ② 本人の情報やニーズをその都度利用時前に確認し、必要としている支援を心がけている。
体調や食事の状況、趣味など確認している。
宿泊希望への対応は丁寧に対応できている。
- ③ 声掛けにより変わったことや困ったことがないか確認している。地域的话题を心がけている。
変化を見逃さないようにしている。知り合いと傍になるように席の配慮をしている。
- ④ 送迎時、訪問時に様子を伺うようにしている。表情の観察を心がけている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ③ 声掛けはするが次々とは言葉が続かない。
- ④ 家族や介護者との関わりが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・計画なし

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	13 人	2 人	0 人	16 人

前回の改善計画	利用者の声や希望、得意なこと、できることを尋ね、確認したうえで行事・活動を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	行事は利用者の日頃の発言や希望を参考にして内容を工夫した。 ※本項目はレクよりケアプラン内容についてであることを確認し、次回よりケアプランに着目する

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	11	5	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	12	4	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	10	5	0	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	13	3	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ケアプランの確認をしている。
②	利用者の気持ちを尋ね、考えに沿って対応した。
③	歩行訓練、体操、屋内外活動を通じて目標達成を図っている。 会話を通じて希望や気持ちを引き出すようにしている。得意なことを次につなげるようにしている。
④	できごととは他の職員やケアマネに伝達している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	資料を読むが忘れることもある。自宅での状況が分からない利用者や拒否的な利用者に悩んでいる。 自分の気持ちに左右されてしまうことがある。
③	本人のできることとサービスが適合しているか悩むことがある。
④	個別利用者のためのミーティング機会が不足している。 ミーティングへの参加機会が少ない。排泄介助などに追われ個別対応が難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①に着目 ・ケアプランのしくみ理解のための事業所内研修を開催する。 ・本人に合ったサービス提供により高めるため、毎月の職員ミーティングを再構成し、個別の利用者の介護の見直し時間を毎月設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月22日(17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 16名(介護支援専門員1名、看護職員2名、介護職員13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	9人	0人	0人	16人

前回の改善計画	法人規程に従い、預り金の管理に関するルールを定める。
前回の改善計画に対する取組み結果	現金、貴重品の預りを行う場合は、預り金管理規程 預り金管理依頼書を作成することとし、現在預かっている利用者について順次作成している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	8	8	0	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	6	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	14	1	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	10	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	10	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②	利用者に合わせた通い送迎時間や排泄の声掛けをしている。 自分でできることはできるだけ自分でしてもらうようにしている。 能力の取り戻しを目標に支援している。 ケアプランに沿った支援をしている。
④	体調変化は気づいたらすぐに他の職員と話し合っている。 帰宅願望などへの対応を心掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	利用者や家族と話機会が少ない。 家族同居者は生活の把握が難しい(根掘り葉掘りは聞けない) 今の状態把握に着眼点が偏っているかもしれない。 目を通さなければならない情報が多すぎる。
③	利用者自身でも声にならない感情の言語化が必要な場面があるが難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①に着目	・小規模多機能型居宅介護計画(ほほえみのサービス提供計画書)の見直しにかかる再アセスメント、計画原案、専門職間同意、実施記録、モニタリング、評価の過程の記録を職員の見やすさ考えやすさに合わせて見直す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	9 人	4 人	0 人	16 人

前回の改善計画	大田方面への買い物も可能な外出支援を定期実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月大田又は町内スーパーへの買い物同行の機会を設けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	10	3	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	9	3	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	11	5	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	7	8	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者、家族との面談や他事業所からの情報提供書を活用して把握している。
②	来所された家族、親類には日頃の様子を話している。 散歩やドライブへ誘っている。
③	サービスの入らない日の様子を尋ねるようにしている。
④	老人会やサロンへの参加ができるように支援している。 所在不明利用者に対して、協力して搜索したことがある。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②	独居者は地域との関係構築にどこまで関わればよいかわからない
③	家族介護者がいる場合は把握が難しい。
④	民生委員や地域資源は把握していない。 地域の人と話す機会が少ない。 家族同居利用者はケアマネや管理者が中心となって対応していることが多い。 自発的な情報収集が不足している。職种的に関わりが少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
④に着目	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員が作成するアセスメントシートに本人に関わっている人々 (民生委員、老人会、自治会) を記載すると同時に、ケアプラン第 1 表にも連携状況及び家族の連携承諾の有無を記載する。 地域との連携状況は随時職員にも伝達する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	3 人	0 人	16 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて過少サービス、過大サービスについて報告し、適切性を確認する。 ・長期宿泊者の受け入れ要件をルール化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2 ヶ月毎に運営推進会議ですべての利用者の利用回数等を報告し、長期宿泊者、週 4 回未満サービスの方については生活状況、意向を報告しアドバイスを受けている。 ・やむを得ず長期宿泊をする場合は、介護 3 以上で困っている方の受け皿として行うルールとする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	11	2	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	11	2	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	10	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	10	0	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	地域行事に参加するようにしている。認知症カフェへの参加支援、配食サービスの利用。
②	3 つのサービスは柔軟に変更されている。 希望に応じたレクリエーション活動をしている。 空き利用も柔軟に対応している。
③	利用者ごとの生活パターン、行動パターンに合わせるようにしている。 朝礼、申し送りで情報は引継ぎされている。 状態が改善する利用者が複数名いる。
④	訪問中に様子に異変あれば連絡し、通いや泊まりへの変更結び付けている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・計画なし 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	5 人	1 人	16 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護計画の作成する際に担当職員との打ち合わせを行う。 ・サービス担当者会議録を事業所内でいつでも閲覧できる環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護計画の作成前に担当介護・看護職員と状況確認、計画相談している。 ・介護支援専門員が作成する資料は配布、押印されている。

◆今回の自己評価の状況趣旨

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	5	5	2	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	5	6	5	16
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	11	2	0	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	9	2	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	定期的なサービス担当者会議で情報共有している。 直接的な関わりは少ないがケアマネ等が対応、事後に情報共有している。 他事業所の人にも立ち寄ってもらえるように、来客時にはゆっくりと対応している。 知り合いの人が訪ねてくる。
③	地域イベントに参画、参加している。
④	見学者がきたり、散歩中の保育園児が立ち寄ってくれたりしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④	利用当初は利用者に面会があるが、徐々に減っていくことが気になっている。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①に着目	・サービス担当者会議へ担当介護職員出席を促進する (目標値 50%)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)

7. 運営

メンバー 16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
計画設定なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	10	6	0	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	14	2	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	13	1	2	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	11	3	2	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	職員間での話し合いの結果は上司も把握している。 意見は言いやすい。意見を言う機会がある。全体で協力できている。
②	管理者、リーダーが対応し、対策含め情報伝達されている。
③	場所が分かりにくいとの指摘を受け、看板を設置した。
④	文化展への作品出品し、地域との繋がりのお機会としている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	職員として意見を言えていない。自分から発言していない。
②	介助時に利用者から叱られることがある。
③	地域の方の意見を聞く機会がない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①に着目 ・介護職員による実地指導チェックリスト等を用いた事業所点検を行う。	
④に着目 ・職員と地域との接点を増すことを目的に、利用者の居住地区の民生委員を事業所に招き、交流会を開く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	14 人	0 人	0 人	16 人

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 水害時の避難基準の策定・ 介護事故対応研修の開催・ 各種認知症研修の受講促進	<ul style="list-style-type: none">・ 夜間の水害時は、裏の川の水位が上から 1 m まで上昇した時点で管理者またはリーダーが出動し夜勤者との 2 名体制で警戒、さらに 50 cm の上昇で避難開始することと定めた。・ リスクマネジメント研修を行い、応急対応と連絡の重要性理解が高まった。・ 認知症介護基礎研修に 2 名、実践者研修に 1 名が受講した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7	9	0	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	11	2	2	16
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	9	2	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	14	1	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 事業所内研修が開催されている。 研修参加して自分のスキルアップに努めている。	
② 介護福祉士実務者研修修了した。	
④ 実践に無理のない安全活動をしている。 予防的な取り組みや再発防止に取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 資格取得は自信がない。 研修にあまり参加できていない。	
③ 参加する機会がない。	
④ 事故発生後の対応が遅れがちだった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
③に着目 ・ 各事業所所属の介護職員が相互に情報交換できる機会を設けるよう、大田市介護サービス事業者協議会グループホーム・小規模多機能部会に上奏、企画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 22 日 (17 : 30～18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 16 名 (介護支援専門員 1 名、看護職員 2 名、介護職員 13 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	13 人	0 人	0 人	16 人

前回の改善計画	やむを得ず長期宿泊する場合は、プライバシーの確保できる部屋を準備する。
前回の改善計画に対する取組み結果	受け入れている 3 名について、2 名は個室を提供、1 名は間仕切り可能なフロアを提供している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	8	0	0	16
②	虐待は行われていない	8	8	0	0	16
③	プライバシーが守られている	3	13	0	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	10	3	1	16
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	9	1	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	身体拘束はしていない。 日常生活の中でも苦痛がないように気を配っている。
②	虐待は行われていない。
⑤	貴重品は鍵付きの保管庫に保管されている。 情報ファイルは原則外部に持ち出されることがない。 人目に触れないよう、個人ファイルを開く場所には気を付けている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	制止する言葉の調子が強くなってしまうことがある。
④	成年後見制度についてよく知らない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
②④に着目 ・島根県が主催する権利擁護推進員養成研修に職員の受講を進める。 ④に着目 ・利用者の情報管理をより適正にするため、事務所書棚をカギ付に改修またはカギ付書庫を設置する。	